

TOKYO MAIL NEWS



EAST
TRANSPORT
SERVICE WORKERS
UNION

輸送サービス労組 東京地本

JTSU-E TOKYO

2021.7.19
No.005



東地申57号 7月19日開催

**オリパラ輸送の体制確保のため、新たなジョブローテーションによる
強制配転の中止・見直しを求める緊急申し入れ 団体交渉を行う！**

新たなジョブローテーションによる異動の態様が7月も行われています。乗務員職場では、オリパラ輸送に伴い終電延長や増発の対応で行路が見直され、臨時行路も設定される(7月9日に臨時列車の運転取りやめのプレス発表)ことから7月、8月の特休調整を行うことも示されており、組合員からは「特休が取られているのになぜ異動させるのか」「オリパラ輸送に支障が出る」などの不満の声が出ています。職場ではオリンピックを成功に導いていくために、オリパラ輸送における安全・安定輸送に万全を期していくことが説明されていますが、オリパラ輸送を控えた中で乗務員を異動させることに疑問を持たざるを得ません。本来なら体制を確保するためにこの時期の異動は差し控えるばかりか、養成に時間のかかる優等線区からの異動はもってのほかであり、オリパラ輸送が無かったとしても繁忙期を迎える中での異動は、職場の現実からはかけ離れていることから団体交渉を行いました。

1. オリパラ輸送に向けて、安全・安定輸送の体制と要員の確保のため、現在態様している新たなジョブローテーションによる異動を一旦 中止・見直しをすること。

(会社回答)異動については、就業規則に則り取り扱うことになる。なお、必要な要員は確保している。

(組合) オリパラ輸送に伴う終電の延長、臨時行路の設定、繁忙期の臨時列車輸送があることや新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け緊急事態宣言が発出されている中、新たなジョブローテーションによる異動をする必要はあるのか？

(会社) オリパラ輸送だけではなく繁忙期輸送、緊急事態宣言の中でも社員の働き方の多能化、中長期を見据えて総合的に判断をした。

会社はオリパラ輸送だけではなく中長期的に業務上必要な要員は確保していると繰り返し回答する！

(組合) 新たなジョブローテーションの異動の対象者は支社が決めるのか。

(会社) 本社に関係する異動については本社も関わっているが、支社内完結の異動については支社で判断している。

(組合) 私たちは新たなジョブローテーションに異動全てを否定しているわけではない。何故、各現場が忙しいこの時期にまで異動を行うのか？

(会社) 区長や管理者からは聞いている。異動に関しても様々な意見もあるということも受け止めている。ただし、受け止め方も様々あることから、繰り返し説明し一つひとつの施策に関しても納得してもらおうようにしていく。

地本の主張を述べる！

会社の発展のためにも人事異動の必要性は認めるが、異動の時期、特にオリパラ輸送を控えた中での異動は納得できない。また事故や事象が多く発生しており、こうしたことが発生すれば会社の発展もないことを主張する！

**オリパラ期間中の異動に関して会社との認識が合わず対立で終了！
今後も納得感や整合性のない新たなジョブローテーションの中止・見直しを求め続けます！**